

## 東海大学付属浦安高等学校の金融教育授業を取材

2022年11月24日（木）渡辺伸子会員がプロデュース、実施した金融教育授業が東海大付属浦安高等学校（千葉県浦安市）で行われました。高校3年生を対象とした6コマの授業で、この日は最初の2コマ（50分×2）の授業が行われました。町田健一1級ファイナンシャル・プランニング技能士が説明役となり、講堂で高校3年生全9クラスを前に実施されました。

1時限目は資産投資の必要性、方法、課題について講義がなされました。お金を稼いだ場合、そのうちのいくらかを貯金及び資産形成に充てるのがライフプランの一つの有力な方法であることが説明されました。資産形成

といってもいくつもの方法がありますが、それらはどのようなものであるのかも説明されました。

2時限目は生徒たちへの今後の課題の提示でした。この授業の3～4時限目（12月8日に実施予定）では生徒たちがグループ分けされ、自分たちでは株と投資信託のいずれを選ぶか、その内容はどうか、それを選んだ理由は何かなどを話し合います。インターネットで調べて班で決定します。2時限目の授業では、そのやり方が町田講師より説明されました。MINKABU（みんかぶ）というサイトを使うと便利で、株の場合、これまでの株価の推移のチャートを見るのがよい、そして今後もこれまでの勢いで伸びるか、その理由がちゃんとあるかなどを判断した上で株を購入するかどうかを決めるとよいというアドバイスがなされました。投資信託の場合、サイトが薦めるいくつかのファンドが出てくるので、それを参考に、「新生銀行」サイトでシミュレーションするとよいというアドバイスがなされました。毎月いくら積み立てるか、利回りはいくらかなどをインプットして自分の希望にマッチした投資信託を選ぶとよいという具体的指導も行われた。生徒は全員がタブレットを持ち、講師の指示でMINKABUなどを開きながら勉強していた。

最終的に、12月15日の5～6時限目に各班が講堂のステージで自分たちのまとめた内容をプレゼンすることになるそうです。現在政府も、貯蓄ではなく投資を薦める時代になりました。18歳が成人として認められ資産運用も行えるようになった今、政府の言葉をうのみに投資をするのではなく、その方法、理由などを自分で判断できる力を身に付けて投資を行うのが重要です。渡辺会員らの授業はこの必要性を補ったタイムリーな内容となっていました。

### 渡辺伸子会員のコメント

2018年から中学校では3年生に「お金の授業」、高校では「お金に困らない人生設計」を3学年別でシリーズ化して授業をしています。キャリアコンサルタントの私が学校のニーズをおうかがいし、経験・知識豊富な町田とそのニーズを含めたオリジナルな授業内容を作り展開しています。

